

自己評価

研修部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の実態に即した支援の充実を図るため、校内研修や学習会を行い、組織力・専門性を高める。</li> <li>総合産業科における専門性の高い職業教育を推進するための研修・研究活動を行い、指導内容の充実を図り、指導力と実践力を高める。</li> </ul>
----------	---

評価する領域・分野	研修、研究	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「授業」については体験的な学習が取り入れられ生徒は意欲的であることが高く評価されている。一方、生徒の実態に即しているかという点で「ややあてはまる」は多いが、「わからない」も多く、「よくあてはまる」という評価は少なかった。授業の目的を明確化したり、教材・教具を工夫したり、さらなる授業改善が求められる。</li> </ul>	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が主体的に研修を進め、指導実践力を身に付けるための支援をする。</li> <li>学校教育の課題を解決するための研修を行う。</li> <li>専門教科等指導の充実と生徒の自立に向けた指導内容の充実を図る。</li> <li>教師の実践力を養い、コア・スクールとしての専門性を高める。</li> </ul>	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>初任者研修推進委員会を組織し、計画的、実践的な研修を行う。</li> <li>コア・ティーチャーや他の分掌長と連携し、コア・スクールとしての役割を担う研修、研究活動を実施する。</li> </ul>	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通指標となる目指す姿を設定し、学習環境の整備と授業改善に取り組む。</li> <li>教育課題に即した内容、時期のバランスがとれた研修を企画、実施する。</li> <li>授業参観週間を実施し、意見交流する。</li> </ul>	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>事後アンケートの分析結果。</li> <li>実践集等からわかる教育実践。</li> </ul>	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修 ・ 校外研修（各種研究・研修会案内） ・ 初任者研修</li> <li>経年研修 ・ 各研修とりまとめ ・ 岐阜県特別支援学校教育研究会</li> <li>コア・スクールを核とした専門性向上に関する研究 ・ 実践集</li> </ul>	
評価の視点		評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が主体的に研修を進め、指導実践力を身に付けるための支援ができたか。</li> <li>学校教育の課題を解決するための研修を計画的に行うことができたか。</li> <li>コア・スクールとしての専門性を高めることができたか。</li> </ul>		A (B) C D (A) B C D A (B) C D
成果・課題		総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す姿として「学びの10の心得」を提案し、実践的な研修が実施できた。</li> <li>○コア・スクール研修会や授業参観週間等、実践的な研修が実施できた。</li> <li>▲軽度知的障がい、発達障がい有する生徒の理解を深め、高校生年代の諸問題に精通し、職業教育を推進する授業指導力と進路指導力を高める必要がある。</li> </ul>		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>コア・ティーチャーや進路指導部と連携し、授業実践力と進路指導力を高める研修を行う。</li> <li>認知トレーニング（コグトレ）等の手法を活用した授業実践の研修を行う。</li> </ul>	

学校関係者評価 (令和2年2月27日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は社会の変化に合わせ、企業が求める生徒を育成する為、これからも研鑽を続けていく。</li> </ul>
-----------	--